

# ラコール®NF配合経腸用半固形剤※ 投与の手順

## 半固形栄養剤用加圧バッグ (別売り) を使用する場合

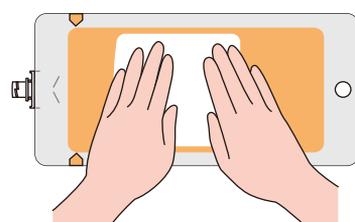
**1** 操作前には必ず手洗いおよび手指消毒等を行ってください。



**2** 患者さんの上半身を30~45度\*に起こします。



**3** 半固形剤を両手で交互に10回ほどもみます。



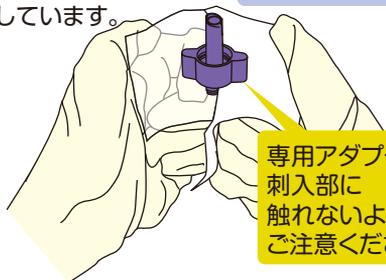
## ISO 80369-3 タイプ ラコールNF配合経腸用半固形剤専用アダプタ(別売り)を使用します

**4** 包装を開封し、専用アダプタの刺入部を出します。

包装内は滅菌しています。

ISO 80369-3 タイプ

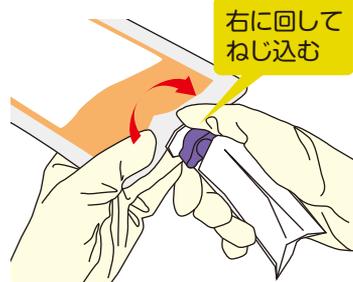
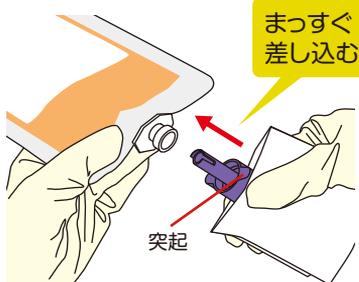
専用アダプタの刺入部に触れないようご注意ください。



**5** 半固形剤の口栓に専用アダプタの突起を上にして差し込み、右に回してねじ込みます。

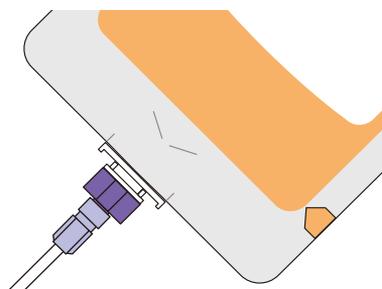
まっすぐ差し込む

右に回してねじ込む

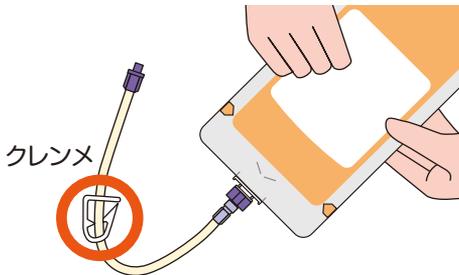


包装をむいた状態でねじ込むと清潔に操作できます。

**6** 胃ろうチューブ等に専用アダプタを接続してください。

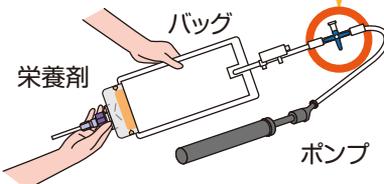


**7** チューブ内に半固形剤を満たし、クレンメを閉じてください。

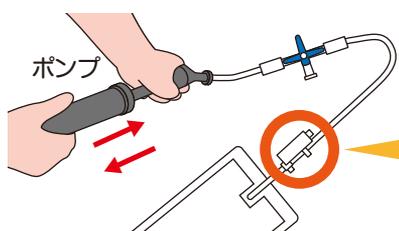


**8** 加圧バッグに半固形剤をいれてください。

コックを図のように合わせてください。

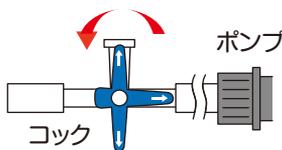


**9** 手動ポンプを前後にスライドさせ、圧力ゲージの緑色の目盛が見えるまで、加圧バッグを膨らませます。



圧力ゲージ  
緑色を超えないよう調整してください。

**10** 三方活栓のコックを図のように合わせ、クレンメを開き、半固形剤を投与します。(必要に応じて加圧バッグを膨らませます。)



\*加圧バッグの使用方法等については、製品の取り扱い説明書をご覧ください。



### 投与後は

投与終了後は少量の水もしくは白湯でフラッシュし、チューブをきれいにしてください。

体調変化、栄養剤の漏れなどがなければ確認します。

